

発行：野々市市民生委員児童委員協議会

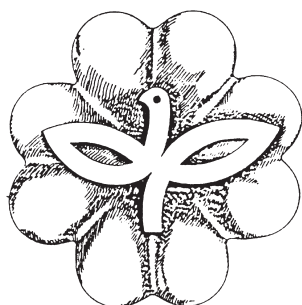
# ののいち 民児協だより

第5号  
平成28年6月



民生委員・児童委員と地域福祉推進員との合同研修会

ウィンドブレーカーを新調しました。お気軽に声を掛けてください。



民生委員・児童委員は民生委員法に基づき、各市町村に置かれる民間奉仕者です。委員は都道府県知事の推薦に基づく厚生労働大臣が委嘱するもので、任期は3年です。



# 笑顔とあいさつがあふれる街を

野々市市民生委員児童委員協議会

会長 前川 一夫

日頃から、民生委員・児童委員の活動にご理解、ご協力をいただいております市民の皆様には、心よりお礼を申し上げます。

あの未曾有の被害を出した東日本大震災発生から五年が経ちました。いまだ復興も道半ばのなか、昨年も口永良部島噴火による全住民の避難などの火山災害や、関東・東北豪雨災害などが相次ぎました。被災地の皆様には、お見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を願うものであります。

また、その被災地で献身的に民生委員・児童委員として活動を行っている委員の方々には、同じ委員として心より敬意を表するものです。

昨年北陸では、待望の新幹線が開通し、連日のように観光客で賑わう様子が報道され、現在もその賑わいが継続しています。しかし一方で、それらの恩恵に浴することなく、経済的困窮や核家族化



歳末たすけあい施設慰問 12月26日

を根底とする、高齢者の社会的孤立による生活不安や子どもたちの不登校、いじめ、虐待など課題も年々顕在化しているように思われます。私たち民生委員・児童委員はこれまでも安心して住み続けられる地域づくりのため活動してまいりましたが、今後さらに関係機関や地域の皆様と連携を深め、地域の人たちに寄り添い、人とのつながりの第一歩ともいえる「笑顔とあいさつ」があふれるそんな街

を目指したいと思っています。

来年（平成二十九年）には民生委員制度創設一〇〇周年を迎えます。

その歴史は、大正六年に岡山県で誕生した「済世顧問制度」を始まりとし、翌年大阪府で「方面委員制度」が発足、その後昭和三年には全国に普及しました。戦後（昭和二十一年）民生委員令の公布により名称も「民生委員」と改められました。そして、それぞれの時代において、常に「住民の心の支え」として活動をつないできた諸先輩の姿がうかがわれます。

今年、民生委員・児童委員の任期満了により十二月には改選が行われます。地域によっては委員の交代もあるかと思いますが、野々市市民生委員児童委員協議会としては「委員の交代があってもその活動は継続されるものである」このことを重視し、改選後も地域の皆様に安心と信頼が得られるよう活動を進めてまいります。

今後とも、市民の皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 民生委員児童委員信条

- 一、わたくしたちは、隣人愛をもって、社会福祉の増進に努めます。
- 一、わたくしたちは、常に地域社会の実情を把握することに努めます。
- 一、わたくしたちは、誠意をもって、あらゆる生活上の相談に応じ、自立の援助に努めます。
- 一、わたくしたちは、すべての人々と協力し、明朗で健全な地域社会づくりに努めます。
- 一、わたくしたちは、常に公正を旨とし、人格と識見の向上に努めます。



民生委員制度創設  
100周年シンボルマーク  
(全国民生委員児童委員連合会)

民生委員制度が創設100周年を迎えることを広く地域のみなさんにアピールしていくため、キャッチコピーと一体としたシンボルマークを作成しました。

※本誌は、「障がい者」と表記していますが、法律名や固有名詞は、そのまま記載しています。

# 県外研修を終えて

研修日 平成二十八年 五月十二日(木)〜十四日(土)

研修先 鹿児島県

● 知覧特攻平和会館  
● マルヤガーデンズ

今回の研修は、世界恒久平和を願って設立された鹿児島県の知覧特攻平和会館を訪れ、戦争の悲惨さと特攻隊員とその家族の思いに触れることができました。戦後七十年が経過し、平和に対する思いを再確認する機会となりました。また、大型店舗撤退後、地域の人々と協力し九階建ての各階にコミュニティスペースを持つ地域密着型商業店舗のマルヤガーデンズの視察を行いました。今後の民生委員・児童委員活動に生かせる研修会になりました。

## 知覧特攻平和会館



太平洋戦争末期に編成された陸軍航空隊の特攻に関する写真、遺書など四千五百点、特攻隊員の遺影一千三十六柱などを展示する施設です。

二十歳前後で特攻として飛び立つ若者が数時間前に家族（特に母親）に宛てた、これまで育ててくれた感謝と、御国のために役に立ちたいとの想いを、毛筆で達筆にしたためられた手紙に臉が熱くな

りました。

若い人たちも沢山来館しており、しきりにハンカチを使っているのを見るにつけ、また、小学生のグループが語り部から真剣な面持ちで説明を聞いているのを見、戦争の悲惨さを二度と繰り返さないよう、後世に語り継いでいくことが、私達に課せられた責務と考えます。

今日の幸せは、先人達の尊い犠牲の上にあり、改めて平和の大切さ、命の尊さを感じました。



(写真は知覧特攻平和会館パンフレットより)

## マルヤガーデンズ

大型デパート鹿児島店の撤退を機に、建物を全面的に改修し、テナント集積型商業施設として、平成二十二年四月に鹿児島市の中心市街地である天文館に、マルヤガーデンズとしてオープン。

「買い物集会所」として、地域のコミュニティの活動の場と商業施設がひとつになることで、新しいつながりや絆が生まれる場所（人と人、人とモノ、

モノとコト。すべてが有機的につながり合い、館を覆う緑のように葉を茂らせ、茎を伸ばし、成長を続けながら、みんなが自然に集まる場所）、まちにとつてなくてはならない施設を目指しています。



# ひろば

子どもの大切さ

押野地区 北川 ひとみ



主任児童委員になり  
三年目に入りました。  
初めは不安が多かった  
のですが先輩方に教えていただき、  
少しずつですが理解していただき、  
保育園や学校の行事や子育て支援  
センターでの子どものお世話など、小  
さな子どもとふれあう機会が増えてき  
ました。子どもの笑顔や仕草を見てい  
ると私自身も癒される感じです。



研修会（前列中央）

しかし、最近のニュースなどで児  
童虐待の事件がよく目につき、とて  
も心が痛みます。そうなる前に何  
か手助けできないものなのかと、  
いつも悲しく思います。

子どものありがたさ、大切さ、大  
事さ、かわいさをわかってほしいで  
す。私も子どもからたくさん幸せを  
もらい感謝しています。子育て中の  
親子（特に新米ママ）とのふれあいや  
会話が大切だと思います。個人的には  
「あまりがんばりすぎないで 誰か  
に相談しよう」などと言って、少  
しでもお役に立ちたいです。

これからも保育園や学校等の行事  
に参加し、子どもたちの様子を見守  
り、みんなで協力しながら活動して  
いきたいと思います。

## 民生委員になって

本町地区 泉 岳夫



民生委員・児童委員  
の委嘱を受け、三年目  
になります。

今だに周りの人達に助けてもらっ  
ての活動です。

振り返ると、昭和四十八年に扇が  
丘に転居して来た時は、金沢工業大



本町地区研修会

学、大日製作所が目立つ他は、田圃  
と新築の家ばかりでした。

当時、町内会設立等に奔走して頂  
いた諸先輩達は、今ではだいたい老い  
てますが、元気な方も多くおいでに  
なります。

まだ若輩で何の協力もできなかった  
私は、今人生の諸先輩の見廻りで  
恩返しと思いい活動しているつもりで  
すが、逆に人生論を聞かされ、恐縮さ  
せられることもたびたびあります。

自身のことより、近所の方々の心  
配をしてくれる人や、いろんな世間  
話を聞かせてくれる人、忠告をして  
くれる人、色々な人との出会いは、

地域の人達への恩返し活動のつも  
りが、自身の勉強になっている状態  
です。

今後とも町内会の行事に積極的に  
参加し、高齢者と町内の人達との交  
流の橋渡しに努力して行きたいと思  
います。

## コミュニティカフェの役割

押野地区 宮本 真由美



民生委員として、三  
年目を迎えました。一  
年目は、こんな荷の重

い役目だったのかと思いましたが、  
老人会や子供会の行事に、民生委員  
になったことを知って頂くためと親  
睦を図りたいとの気持ちで、できる  
範囲で参加しました。

そして、私が民生委員を引き継い  
だと同時に、野々市市で第一号のコ  
ミュニティカフェが町内の集会場に  
オープンしました。月、水、金の週  
3回ですが、そこには、ひとり暮ら  
しの方や高齢者の方々が訪れ、ラン  
チをしたり世間話をしながら過ごし  
ていらっしやいます。また、サーク  
ルもあり、絵画や編み物、パソコ  
ン、カラオケなどの趣味を持ち楽



定例会 (左側)

しんでいらつしゃいます。3時以降になると、入れ替わりに子ども達が来ます。おやつを食べたり勉強したり遊んだりして過ごしています。この場はひとり暮らしの方の淋しさを紛らす心の拠り所となっている様です。私も時々ランチをし、皆さんと世間話をして交流を図っております。今後益々、ひとり暮らしの方が、増加していく社会情勢です。コミュニティカフェは、町内の親睦の場としても、ひとり暮らしの方の見守りの場にも、とても役立っていると思います。他にもこの様なコミュニティの場が広がっていけば、なによりだと思えます。

## とんとん隣組のすすめ

富奥地区 村井 公子



我が家の隣人はとても頼もしい。同居している母が外へしばらく出でないとみると「どうしてる?」と、訪ねてきてくれる。私が「婆ちゃん風邪ひいた」などと言うものなら「熱は?」「大丈夫か?」と飛んできてくれます。

「大根ある?」「ネギあげようか?」「おかずたくさん作ったし少し食べて」など、季節に応じた様々な食材のお裾分けがあります。また、宿泊を伴う旅行に出掛ける時はお願いして出掛けます。ありがたいことです。おのずと「おかげさまで」が口から出ます。

核家族が進み、「隣は何をする人ぞ」と言われる希薄な人間関係の現代社会。個人主義に名を借りた利



定例会会場設置

己主義には、こんなお付き合いがそれぞれの家で出来たら若い方や高齢の方が孤立せずにいられ、地域力も高まり細やかな見守りも出来るのと思います。もう少しだけ、おせっかいな近所付き合いをしてみませんか?

## 県外研修に参加して

郷地区 高木 由次



今回の研修は、熊本地震のため開催が危ぶまれましたが、世界恒久平和を願って設立された鹿児島県の知覧特攻平和会館や大型店舗撤退後にコミュニティスペースをもつ、地域密着型店舗のマルヤガーデンズなどの視察を行いました。

中でも知覧特攻平和会館は、陸軍特攻基地が置かれた地に設立され、太平洋戦争末期の昭和二十年四月から一千三十六名の特攻隊戦死者が出ました。そのうち四百二名の若き青年(十七歳から三十歳)がこの地から片道燃料と二百五十kgの爆弾を積み出撃し、敵艦に体当たりし、尊い命が失われました。その遺影、遺品、記録など貴重な資料とともに米

軍の映像も紹介されていました。

私の父は、十九歳で赤紙が来て三島の練兵場に入隊、三か月の訓練後、鹿児島県川内にて終戦を迎えています。当時の話を私は小さいころによく聞かされました。今では信じられない人の扱いに、辛抱して生きて行く術も会得したそうです。上官の理不尽な仕打ちにも隊の仲間たちは耐えていたようです。

子どもが生まれ、その子が結婚し、孫が生まれた今の私は、民生委員・児童委員として何を後世に伝えて、行動しなければならぬか考えさせられる研修会だったと思います。

今回参加された方々とも親交を深め、今後の民生委員・児童委員活動にもっともつと関わって行きたいと思えました。



障害者スポーツ交流大会

# 活動あれこれ

地域の方々を見守る一方、いろいろな相談に適切にお応えするため、福祉専門委員会や研修を通じて自らの向上に努めています。私たちの活動を紹介させていただきます。



老人福祉センター椿荘の清掃ボランティア 5月8日



民生委員の日 PR活動 5月12日



地域包括支援センターとのグループワーク



消費生活講座 はやおき亭貞九郎 3月24日

## 役員研修会



大町市役所にて大町市民児協の方々との交流会

## 地域福祉推進員との合同研修会



キャラバンメイトによる寸劇を入れた「認知症サポーター養成講座」

## 地区別研修会

各地区ごとに目的を定め、研修を行いました。



### 郷・押野地区 グループワーク事例研究

日頃の活動のなかでの問題点や、事例について話し合いを行いました。

(10月29日 野々市市)

### 本町地区 三谷の里ときわ苑 施設見学

生活困窮者自立支援の取り組みを行っている救護施設の見学を行いました。

(10月26日 金沢市)



### 富奥地区 日本海倶楽部 施設見学

能登内浦を見渡す高台に、ミニ動物園を備えた知的障害者授産施設の見学を行いました。

(10月27日 能登町)

## 福祉専門委員会の活動内容

民生委員・児童委員は、全員が下記のいずれかの福祉専門委員会に属し活動しています。

### 生活福祉委員会



- ・食改\*より健康食品のお話と試食
- ・悪徳商法の対策についての研修

\*食生活改善推進員

### 障害者福祉委員会



- ・障害者スポーツ交流大会の協力
- ・石川障害者職業能力開発校の施設見学

### 児童福祉委員会



- ・七尾子ども交流センターの施設見学
- ・野々市市教育長より現状の講演

### 高齢者福祉委員会



- ・高齢者賃貸マンション「はるる」の見学
- ・有料老人ホーム「スーパーびゅー蓮花寺」の見学

## 〈行政および関係機関との協力活動〉



ミニ門松づくり\* 12月26日



ひとり暮らし高齢者会食会\* 10月15日



暑中見舞い葉書づくり\* 7月27日



赤い羽根共同募金街頭募金（共同募金会主催）10月1日



歳末たすけあい施設慰問\* 12月26日



ひとり暮らし高齢者宅障子張替（野々市市商工会主催）12月6日

\*野々市市社会福祉協議会主催

平成28年6月1日 第5号(通巻28号)

編集・発行

野々市市民生委員児童委員協議会

〒921-8815

石川県野々市市本町5丁目18番5号

野々市市社会福祉協議会内

TEL 246-0112/FAX 246-0169

### 編集後記

年のせいでしょうか、年々季節変動や経済変動が大きく、目まぐるしくなったような気がします。地震 雷 火事 親父以外にも竜巻や集中豪雨が多発し大きな被害が広がっている一方、親父の権威が失墜してしまったのでは……。

マイナンバー制度、電力自由化など果たしてどのような対応を取るべきなのか、悩みごとが絶えません。皆様も困ったことがあれば一人で判断せず、家族や友人、私たちに相談をしてください。

(葭森)